

# 三鷹市補聴器購入費助成事業 視察

2023年 7月 25日



2P～3P 視察報告

4P 視察を終えて

5P～ 制度の概要、制度の手続きの流れ、補聴器相談員のいる医療機関・三鷹市近隣の認定補聴器専門店一覧

9P 補聴器購入費助成の実現の経緯（党三鷹市議団作成資料）

日本共産党 横浜市議団

〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町 6-50-10（市役所内）

TEL 045-671-3032 FAX 045-641-7100

7月25日、日本共産党横浜市議団（5人+政務活動員3人）は、東京26市の中で最初（2022年10月1日）に、補聴器購入助成をスタートさせた東京都三鷹市を視察しました。

### 【視察行程】

- ① 三鷹市役所にて担当当局からレクチャー
- ② 日本共産党三鷹市議団と懇談

### 【制度の特徴】

①対象年齢を18歳以上としている。（65歳以上としている自治体が多い）

②「補聴器相談医※1」「認定補聴器専門店※2」を確立している

※1 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会より認定を受けた耳鼻咽喉科医師

※2 認定補聴器技能者が常勤し、補聴器相談医と連携して補聴器の適正な販売を行う店舗

### 【三鷹市役所でのレクチャー・質疑応答】

対応：三鷹市健康福祉部高齢者支援課

質問）制度策定までの議会での議論、担当局内の検討の特徴

回答）2022年度の当初予算で事業費が示された時には、どの会派からも特に反対の意見は出なかった。その後の担当常任委員会で制度の対象範囲などの検討が行われた。

質問）助成申請者数と申請受理者数について

回答）事業開始の2022年10月からの半年間で182人が申請し166人が受理された。受理されなかった方は、利用対象の条件を満たしていない方。



質問）制度利用の手順の1～6に要する実際の間について

回答）一番早かった方の例

10月5日 申請

10月7日 「医師意見書」記入用紙を市役所が郵送

10月11日 補聴器相談医を受診、作成された「医師意見書（検査結果含む）」を市役所に提出

10月21日 助成金交付決定通知書を市役所が発行し郵送。

10月27日 認定補聴器専門店にて購入

→申請者本人のペースによるので、申請から購入までの期間は異なる。

質問）満18歳以上、本人の合計所得金額210万円未満とした理由について

回答）障害者手帳を持っていない18歳以上の難聴者を支援する制度が無かったため。

210万円未満としたのは、市長より「非課税世帯」で区切らない線引きを指示されたこともあって、介護保険の7段階と同じものにした。65歳以上の80%をカバーできる。

質問）補聴器本体購入費用の二分の一の額（上限額4万円）の根拠について

**回答)** 補聴器は、メンテナンスしながら長く使うものなので、費用の半分は自己負担にした。制度設計をしている時に、価格の安いもので 8 万円があったので、その半分の 4 万円を上限とした。

**質問)** 制度対象条件に購入前の申請とした理由について

**回答)** 助成対象が決まっているので、対象条件をクリアしているのかがどうかご本人に確認してもらうために事前申請としている。

**質問)** 感じている課題点や市民意見

**回答)** 補聴器のメンテナンスやレンタル・リースにも助成をしてほしい。制度がまだまだ知られていない。助成額の増額をしてほしいなどの声が届いている。必要に応じて検討していく。

**質問)** 制度策定時、何人程度の申請を予想していたか。

**回答)** 280 人程度を予想し予算をつけた。

**質問)** 東京都 26 市の中で最初に助成制度をつくった。周りにないものをやる決断できたのはなぜか。

**回答)** 三鷹市行政は、コミュニティ行政を掲げている。高齢者や聴力に課題を抱えている方がいきいきと暮らし活躍できる地域を目指している。そのためには、認識の核である聴力への支援の必要性を感じていた。そういった姿勢があったと思う。

### 【日本共産党三鷹市議団との懇談】

三鷹市議団の栗原けんじ団長、大城みゆき団幹事長、柴野あすか議員、前田まい議員と懇談しました。

### 【補聴器購入助成制度創設のエピソード】

①市民アンケートなどで高齢者の難聴と補聴器の購入費が高額すぎるという問題があがるようになる。



写真左から：栗原けんじ団長、前田まい議員、柴野あすか議員、大城みゆき団幹事長

②党都議団が調査・議会質問を行っており、都の包括補助費が使えることが分かった。

③柏市で超党派の条例提案も参考にし、参考にして共産党としての 2020 年 12 月議会で条例提案を行った。

④2021 年 2 月の厚生委員会で、「時期尚早」など理由に自民党・公明党によって否決される。

⑤2021 年 9 月 年金者組合で学習会開催

⑥2021 年 11 月 年金者組合と生活と健康を守る会連名で市長宛の要望書を提出

⑦2022 年 3 月、予算案に盛り込まれる。

### 【党三鷹市議団が議会で主張した購入助成の必要性について】

・70 歳代男性の 23.7%、女性 10.6%、80 代男性の 36.5%、女性の 28.8%の人が難聴と言われている。

・話が聞き取れないため、ちぐはぐに答え、認知症と間違えられる

・聞こえないため、耳を使うイベント（講演会）などに出かける機会が少なくなり、認知症のリスクが高まる。

・難聴者の 14.4%しか補聴器を利用していない。一般社団法人「日本補聴器工業会」調査より

・厚労省の認知症施策推進大綱でも難聴は認知症の危険性を高める可能性がある「危険因子」の一つとされている。

### 【市民からの反応】

制度ができて良かったという声が届いている。ただ、補聴器は片耳平均 15 万円と高額なので、助成上限 4 万円では足りない。購入を躊躇してしまうという声もある。引き続き拡充を求めている。

### 【視察を終えて（代表）】

**大和田あきお市議 健康福祉・医療局常任委員  
戸塚区選出**

これまで戸塚区を中心に、赤旗読者、後援会員、ニュース読者、支援者を訪問し、横浜市政や国政への市民要望を伺ってきました。中学校給食の改善や子どもの医療費無償化とともに、どこでも聞かれた切実な声は、加齢性難聴者への支援として補聴器購入の際に助成をしてほしいという要望です。

4 月の横浜市議員選挙では、公約のひとつに補聴器購入の助成制度実現を掲げ、当選後、その実現に向けた方向性について考えていたところ、日本共産党横浜市議団として、東京 26 市の中で最初に補聴器購入助成をスタートさせた東京都三鷹市を視察することになり、横浜市でどう実現していくか、その方策について展望を得る機会として参加しました。三鷹市では、2022 年 10 月から、18 歳以上を対象として補聴器購入助成制度が実現しています。党三鷹市議団は、議案提出権を活用して市議会に補聴器助成条例案を提出し、否決されても、全日本年金者組合などと連帯し、住民自治を実践しながら助成制度を実現してきました。三鷹市での補聴器購入助成の実現への取り組みは、党三鷹市議団と市民との正に協力共同の成果であ

ると言えます。

三鷹市の職員のかたは、補聴器購入の助成制度が実現し、高齢者を含む 18 歳以上の市民や聴力の障害を抱えている人たちが毎日の暮らしでいきいきと活躍できる三鷹市を目指していると語っていました。この制度ができたことによって、改めて自らの聴力障害に気づき、その改善に向けてとりくむ市民も生まれているということでした。市民要求を重視したコミュニティ行政を掲げ、補聴器購入の助成制度を三鷹市政の誇りのように語る職員のお話に、地方自治体の役割は住民の福祉増進にあるという地方自治法の基本理念を実感しました。

### 古谷やすひこ 党市議団団長

横浜市にも「補聴器を助成してほしい！」実にたくさんの方から、要望が寄せられます。市会への請願なども出されていますがなかなか制度創設に向けての動きになりません。しかし何とかしたいと、制度創設自治体に伺って実践事例を視察してきました。

補聴器助成について、東京でも 23 区内は先行して進んでいますが、三鷹市は 23 区外では初めて補聴器助成制度を創設した自治体です。事前に聞いていた話では、三鷹でも横浜と同じように、請願が市会に出されたが否決。しかしその後の市民団体などの粘り強い運動でとうとう実現したとのこと。

視察の冒頭で、当局の方が制度説明をしていた際に、最初に認知症対策としてもという言葉があり、これから患者が増え続けて社会的に大問題になる認知症対策の一環としても大きな役割を担っているということも語られました。

今回視察をしてみてあらためて感じた大事なポイントは二つ。一つは要望を届け続ける粘り強い働きかけが年金者組合からあったと。一度否決されても、要望の声を届け続けることが大切なポイント。二つ目は、医師会の耳鼻科の先生方という専門家の意見聴取を進めさせたことで、加齢性難

聴の患者さんを治療するにあたって壁となることが、高額な補聴器を購入してもらうことだというともわかり、専門家の先生方の声は制度設計にも大きな影響があったとのこと。

また制度創設の条例案を検討するにあたって、他党との折衝の中で三鷹市ではもともと障害の分野では18歳までの補聴器購入に対する補助制度

がありました。議論の中で、障害があっても18歳からは制度が途切れてしまう問題点を補正することも必要ではという議論になり、補聴器購入助成制度は18歳からの制度となったことも印象的でした。

視察で学んだことを活かして横浜でも補聴器購入助成制度の創設に向けて頑張りたいと思います。

## 補聴器購入費助成事業について 三鷹市 HP より

補聴器の購入費用の一部を助成します

聴力に課題のあるかたが、家庭や地域、社会との関わりの中でいきいきと活動できるよう、補聴器の購入に要する費用の一部を助成します。

対象者：次の項目のすべてに当てはまるかたが対象です。

- ・満18歳以上の三鷹市民で本人の合計所得金額が210万円未満のかた
- ・聴覚障がいによる補聴器（補装具購入費）の支給の対象とならないかた
- ・補聴器相談医が補聴器を必要と認めるかた（純音聴力検査や語音聴力検査の結果）

助成額：補聴器本体購入費用の二分の一の額（上限額4万円）

補足

助成の対象は、補聴器本体（管理医療機器として認定された製品に限る）1台となります。

「管理医療機器とは、副作用または機能の障害が生じた場合において人の生命及び健康に影響を与えるおそれがあることからその適切な管理が必要なものとして、厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて指定するものをいう」（「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」第2条第6項より抜粋）

手順

市役所に「補聴器購入費助成金申請書」を提出する。

※本庁舎12番窓口

口に持参または郵送

「医師意見書」が市役所から郵送される。

「医師意見書」を持って補聴器相談医を受診する。

補聴器相談医が記入した「医師意見書」（検査結果を含む）を市役所に提出する。

※本庁舎12番窓口

口に持参または郵送

「補聴器購入費助成金交付決定通知書」、「代理受領に係る補聴器購入費支払請求書兼委任状」が市役所から郵送される。

「医師意見書」（検査結果を含む）、「補聴器購入費助成金交付決定通知書」、「代理受領に係る補聴器購入費支払請求書兼委任状」を持って認定補聴器専門店で補聴器を購入する（助成金額を差し引いた額を購入店に支払う）。

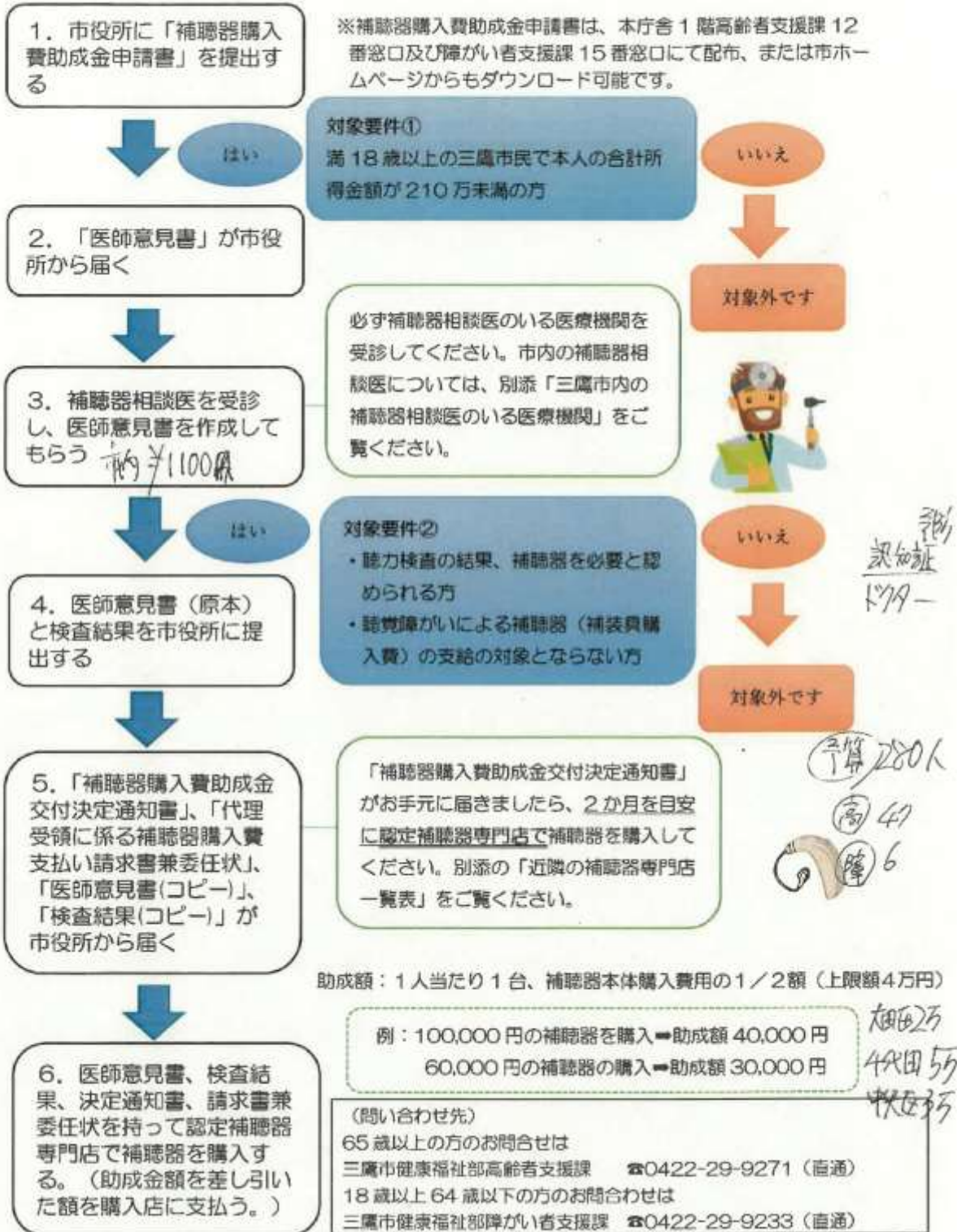
注意事項

購入前に必ず申請が必要となります。申請をせずに補聴器を購入すると助成の対象になりません。

「補聴器相談医」の受診が必要です。補聴器相談医以外の医師が記入した医師意見書では助成の対象になりません。

補聴器は「認定補聴器専門店」で購入してください。認定補聴器専門店以外の販売店で購入した補聴器は助成の対象になりません。

# 三鷹市補聴器購入費助成事業の手続きについて



(参考) 三鷹市内の補聴器相談医のいる医療機関

令和5年4月1日現在

医療機関名・所在地	電話番号	診療時間	休診日	備考
医療法人社団 小野耳鼻咽喉科 新川4-8-1 4ハイウエスト1F	0422-76-5007	9時～11時半 15時～18時	土午後・日午後 祝日	初診は月・水・木・土・日(第1・3)
たなへ耳鼻咽喉科 上連雀9-15-2 4メゾンDール1階	0422-70-3387	9時～12時半 15時～18時半	木午前 土・日・祝日	木曜午後は補聴器外来(完全予約) 土曜日は14時まで受付
三鷹台ヒルスクリニック 井の頭2-1-17三鷹台メディカルセンター2階	0422-76-7722	9時～12時45分 15時～19時	水・日・祝日	受付は18時45分まで
杏林大学医学部付属病院耳鼻咽喉科・頭頸科 新川6-20-2	0422-47-5511	平日 8時45分～12時 土曜 8時45分～11時	日・祝	受診には医師による紹介状が必要
三鷹駅前クリニック耳鼻咽喉科 下連雀3-36-1 トリコナ3階	0422-26-9810	9時～12時半 15時～18時 18時半～20時	水午後・木午前 土午後・日午後	日曜、祝日(臨時)は11時半まで
医療法人社団 徳結会佐竹医院 下連雀3-14-28	0422-43-3273	9時～12時 15時～19時	土曜日午後 日曜・祝日	4月～9月は隔週木曜日不定期で休診
牟礼耳鼻咽喉科 牟礼5-8-11 サンドラッグ2階	0422-29-8631	9時～12時半 15時～18時半	木・土午後 日・祝日	受付は診察終了15分前まで

【注意事項】

1. 本事業は、補聴器相談医のいる医療機関にて受診・検査をし、意見書を作成してもらう必要があります。
2. 補聴器相談医とは、日本耳鼻咽喉科頭頸部学会より認定を受けた聴覚障がいと補聴器の両方を熟知している耳鼻咽喉科医師です。
3. 診察時間や休診日は変更になる場合がありますので、事前に直接医療機関へお問合せください。
4. 上記医療機関は、補聴器相談医による意見書の作成が可能な市内の協力医療機関です。市外でも、補聴器相談医による意見書の作成が可能な医療機関であれば受診可能です。
5. 上記医療機関における意見書の発行は一律1,100円となります。上記以外の医療機関の場合、意見書作成料が異なる場合があります。また別途、受診料及び検査料がかかります。保険証等必ずご持参ください。
6. 医師の意見書発行は、医師による診察・検査が必要なため、初診でのお渡しは難しい場合があります。

令和4年10月20日

三鷹市近隣の認定補聴器専門店

区市	店名	所在地・最寄り駅	営業時間・定休日	電話・FAX	
武蔵野市	リオネットセンター吉祥寺店	〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-7-4丸二清水ビル2階 吉祥寺駅北口徒歩3分	9:30～17:30 ㊿日曜日、祝祭日	電話 0422-20-3311 FAX 0422-23-7221	
	ブルーム吉祥寺店	〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-9-10シユエーブラザビル5階 吉祥寺駅北口徒歩2分	9:30～18:00 ㊿祝祭日	電話 0422-28-7800 FAX 0422-28-7801	
	ヒヤリングストア吉祥寺店	〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-8-5レンガ館モール3階 吉祥寺駅北口徒歩2分	10:00～12:00 13:00～18:00 ㊿月曜日、第1金曜日	電話 050-3173-9234 FAX 0422-23-1266	
	マキチエ備吉祥寺営業所	〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-10-8大石ビル4階 吉祥寺駅北口徒歩8分	9:00～17:00 ㊿日曜日、土曜日、祝祭日	電話 0422-27-6631 FAX 0422-27-6635	
	リケン補聴器センター武蔵野店	〒180-0023 武蔵野市旗南町2-10-25武蔵境マンション102 武蔵境駅南口徒歩2分	9:30～18:00 ㊿日曜日、祝祭日	電話 0422-30-8216 FAX 0422-30-8217	
	(有)アルプス補聴器	〒182-0024 調布市布田2-17-27ケティイブックス1F 調布駅東口徒歩8分、布田駅徒歩3分	平日 9:30～17:30 土曜日 9:30～16:00 ㊿日曜日、水曜日、祝祭日	電話 042-487-0901 FAX 042-487-0901	
	ブルーム仙川店	〒182-0002 調布市仙川町1-25-4シティハウス仙川1階 仙川駅徒歩4分	9:30～18:00 ㊿日曜日、木曜日、祝祭日	電話 03-5315-7150 FAX 03-5315-7151	
	リオネットセンター調布店	〒182-0024 調布市布田1-43-2グレースマンションS棟103 調布駅東口徒歩1分	9:30～17:30 ㊿日曜日、祝祭日	電話 042-499-3340 FAX 042-499-3341	
	<b>【注意事項】</b>				
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本事業は、認定補聴器専門店で購入する必要があります。</li> <li>2. 認定補聴器専門店とは、認定補聴器技術者が常勤し補聴器相談医と連携して事業を実施することで、補聴器の適正な販売を行う店舗のことです。</li> <li>3. 店舗によって夏季や年末年始の休業があります。また、営業時間や定休日は変更になる場合がありますので、事前に直接店舗へお問合せください。</li> <li>4. 上記店舗以外の認定補聴器専門店で購入することも可能です。</li> </ol>				



# 補聴器購入費助成の実現の経緯

## 公約実現

三鷹市議団は選挙のたびに★各常任委員会に所属することができる4人の議員団を!★議案提案権を活用できる4人の議員団を作らせてくださいと訴えており、4年間の任期中に公約である議案提案権の活用と言う事で、条例提案を行ってきました。

これまで三鷹市議団は子ども医療費無償化、敬老金復活、国民健康保険税の二人目以降の子どもにかかる均等割軽減など条例提案や予算組み替え動議などを行ってきました。コロナ禍で財政も厳しいであろう中でもお金もあまりかからなくて、実現したい市民の切実な要求は何か?を考えました。パートナーシップ条例とか、認知症条例など考えられましたが、高齢者の難聴問題が話題となり、会議の中でも聞こえないという人も多数出てくる中、補聴器が高い過ぎるという話が出て、都議団が調査を行い、議会質問もされ、都の包括補助が使えろと言う事もわかったので、補聴器購入費助成の条例提案を行うこととしました。柏市で超党派での条例提案を行っていたのを参考にして、条例を作成しました。委員会での質疑に備え、条例制定市の状況、財源なども調査いたしました。

### ◆2020年12月議会 条例提案

(65歳以上、非課税世帯、  
上限3万円、100人としても  
300万円です。

◆2021年2月厚生委員会  
コロナ禍だからこそ、  
補聴器購入費助成を!!  
公明「時期尚早」自公否決

### ◆2022年3月 予算に盛り込まれる

(18歳以上の市民・本人所得210万以下、  
上限4万円、250人を見込み)

## 補聴器購入助成の必要性

①70歳代男性の23.7%、女性10.6%、

80歳代男性の36.5%女性28.8%の人が難聴

②話が聞き取れないためちくちくはぐに答え、  
認知症と間違えられる。

③聞こえないため、講演会など出かける機会が  
少なくなり、認知症のリスクが高まる。

④難聴者の14.4%の人しか補聴器を利用して  
いない。

⑤補聴器の値段は3~50万。平均15万円。

## 市民運動の取り組みとして~

①年金者組合で学習会開催 2021.9.9

②年金者組合と生活と健康を守る会の連名で  
市長あて要望書を提出 2021.11.25

③議会の傍聴には新婦人をはじめ、年金者組  
合・生活と健康を守る会の方々が多数参加。

便宜  
三鷹市  
議団  
議員  
団  
の  
議  
案  
提  
案  
権  
の  
活  
用  
に  
向  
け  
た  
取  
組  
み

